

## 第十陸軍技術研究部 研究原簿

## 研究要目

記録頁 /

二十糎噴進砲搭載大型部船

## 設計

設計期間 自昭和二十年四月十一日  
至昭和二十年四月十四日

設計擔当 第十陸軍技術研究部

- ・ 設計主要條件 1. 砲装脱可能ナルモノトス。  
                   2. 若干人員及荷物搭載可能ナルモノトス。  
                   3. 砲死角極力減少セリモノトス。  
                   4. 遊著時、射車考慮スルモノトス。  
                   5. 船底改修カガルモノトス。

## 設計要領

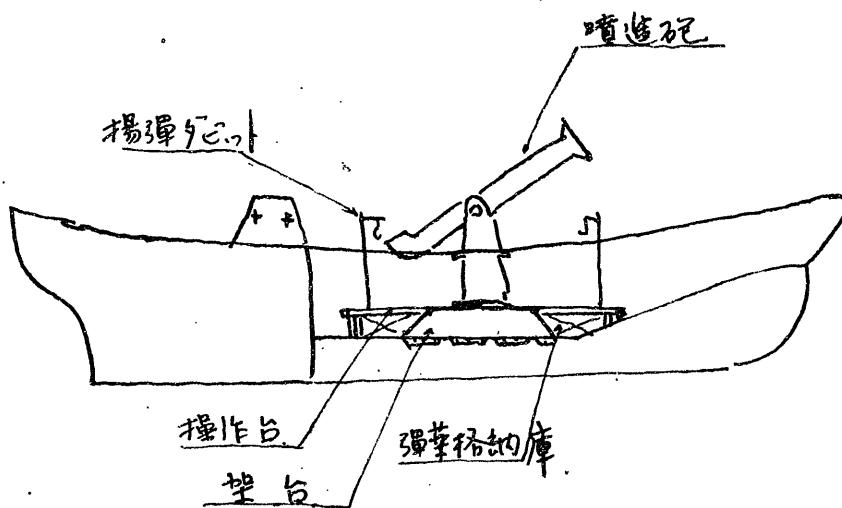
- i. 砲装載位置：艇体重心位置及動搖復原性、見地ヨリ艇重心位置と装載位置トス。  
 ii. 砲装脱：砲基同底脚設、架台=ボルト綴トシ  
手要加し容易装脱可能トス。  
 iii. 附属設備：弾薬格納庫、砲操作台下部船艤  
=四箇所設置ス。  
 収弾能力 一箇所八箱トス。  
 揚弾口二ヶ所、操作台前後部四ヶ所。  
 =設ケ、弾薬庫ヨリ揚弾=使用ス。  
 iv. 砲基設置台：噴進砲後座衝力、略、三十七糎射距離  
=近接火器用ス。

年 月 日 記録者

2015

同舟艇砲、金屬製動輪、搭載セラ場合  
、望台=準レシオ設計ス。  
合望台取付、銅丸、鉛錠、綫縫通材及肋骨等。  
木叶縛トシ所要、应注意着脱可能ナルセラス。  
操作台、装脱容易ナルセラ。之ヲ望台=木叶縛トス。  
松或ハ松材ヲ使用ス。

裝載概略圖下圖、如。



年 月 日 記録者

2016

試製四式二十糢噴進砲 主要諸元 計

- 口 管. 20cm.
- 初速.
- 最大射距離. 約 2500m.
- 發射速度 約 2/分.
- 全 長. 約 3.000 (但シ砲身垂直度294時12)
- ~~全長 約~~
- 全 高. 約 2.500
- 重 量. 約 350 吨.
- 衝 力. 約 一 吨.

## 合彈薬 主要諸元.

- 全長 20cm
  - 彈 薬. 1 m.
  - 炸 薬 苯褐薬.
  - 噴射薬
  - 施向方向
  - 信 管.
  - 重 量 80 吨.
- 弾薬 = Ⅰ号、Ⅱ号、Ⅲ号、三種アリ。各順に噴射薬量。  
減少シテアリ。

年 月 日 記録者

2017

艇重量配分

艇重量	7.45 吨
砲	0.30 吨
操作台(含合)	0.45 吨
附器具	0.02 吨
彈薬(32發)	2.560 吨
砲操作人員3名	0.00 吨
	計 10.780 吨

上記如狀能於  
吃水

貯食吃水

負擔吃水 7%.

重心位置

前后位置不變無

上下位置約 壓差 二十九。

復原力及水影響無

陸軍

研究原簿

研究題目

記録頁 3

(第三號用紙)

試験四式砲載二十糠噴進砲  
砲載大砲動艇

試作

試作期間 自昭和二十一年四月十五日，向架台製作及取付  
至昭和二十一年四月二十日。

試作工場 昭和二十一年五月四日 砲装着  
木南車輛株式会社三室工場。於  
架台，製作及砲取付，落成。

使用大砲、 白洋製造所坦克，木南車輛，大砲，  
37mm。

砲及彈薬、 砲及彈薬，一門件の借用。  
砲，取付二箇所、一万糠の揚力恢复。

費用、 乙号調練研究費

年 月 日 記録者

2019

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

## 試驗

目的「二十糠噴進砲裝載大砲動脈，射擊性能ヲ検之  
其，裝載性，適否ヲ判定入ル。」

判決「二十糠噴進砲裝載大砲動脈、其，射擊性能概  
不不良也。」  
其，裝載性又適當也。」

## 過程，概要

五月八日，午前八時、木蘭車輛立港。

10時 大津川駅場到着。

1100 24 船臺試驗ヲ実施。其結果下記如し。

艇，狀態	停止	航行	連著				
發射彈數	2	3	2				
第一次	中一發	前一發	前一發	前一發	中一發	前一發	前一發
射擊方向	前方	側方	前方	側方	斜前方	前方	側方
船距離	2000	2000	1500	1500	2000	2300	2300
彈着	直	直	彈	直	直	直	直
射角							
裝藥量	Ⅱ号	Ⅱ号	Ⅱ号	Ⅱ号	Ⅲ号	Ⅱ号	Ⅱ号

目標、鋼板製四面形浮遊目標。

天候、晴。

距離、0~1米。

年 月 日 記錄者

2020

波長

波高 0 ~ 10 cm.

風向.

五月八日 0900 木南車輛支港

1000 大津川射場到着.

直4=射車試験の実施二基の結果次如シ。

艇状態	停止.	航行.	達着
発射彈数	2.	2.	0
射車方向	側方	斜前方	斜後方
射距 離	1200	2000	2400
彈 着	稍近	至近	補近
射角			
裝薬量	Ⅰ号	Ⅱ号	Ⅲ号

目標 前日之合意

天候 晴.

風速 1~2 m.

風 向.

波 長

波 高 0 ~ 10cm

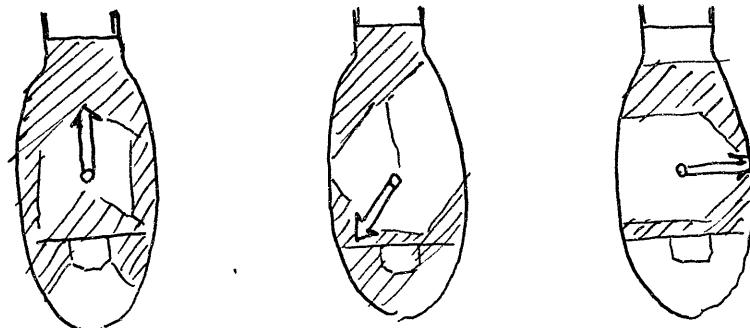
年 月 日 記 錄 者

2021

## 試 驗

所見及情狀、处置。

1. 車輌搭載位置…直當ナリ。
2. 射車=240mm、砲身=砲架台取付部等=木ナット  
地縫、擦レ、等、異常ナシ
3. 炮台、強度八十五十九又十誤ナシ。
4. 前方、側方、斜方方向、射車の空旋の状況、操砲上、挿入基他不徳、感セズ。
5. 射界、腰部、操縦室等除キ、全周射界可能ナリ。
6. 射界射界、前方約87°、后方約85°也。
7. 砲射器時、火薬、火薬及瓦斯=勿危険区域、下図、如クニ



(射界範囲、勿危険区域の圖)

年 月 日 記 錄 者

2022

8. 前方及側面射撃時共、車体、動搖、皆無ナリ。
9. 発射速度、揚弾筒の発射迄一時間ヲ要セニシテ、熟練ニシテ  $\frac{1}{2}$  時間、完全終了シ得ベシ。
10. 前方射撃時、於テ、其、暗、火薬及、瓦斯等、彈薬等、相當、衝撃ヲ受ケルヲ以テ操縦室、若干、支障有リ。  
依ニテ操縦席前面ニトク板ヲ3張、タル斜斗板ヲ設ケ之ヲ防止スルヲ要ス。
11. 揚弾用ガビット、其、高サ低シテ、砲=最大射角ヲ附スルニ非ゲレハ、装填困難ナリ。  
迄テ現在モ、到王約1尺、可スルヲ要ス。
12. 弾薬庫、位置、現在、位置ニテ適当モ更ニ收容量、増大スル事ニ、船台後部、操縦席+1間隙、更に一ヶ所、増設セバ可ナリ。

## 供試兵器

二十糠噴進砲裝載大砲動車一隻。  
現制鉄製大砲動車=試製四式駆逐戦車二十糠噴進砲、裝載ニタルモノス。

試験期日及場所。

自昭和二十年五月七日  
至昭和二十年五月八日 间 大阪府文津川射場。

協同部隊。

第一陸軍技術研究所。

年 月 日 記録者

2023

陸軍

研究原簿

研究要目

記録頁 6

(第三號用紙)

二十糠噴進砲載大發動機

改修

射重試驗結果=3) 因而上下記事項ヲ改修ス。

改修事項

改修理由

1. 操縦席前方ニ容易ニ着脱の事項如キ、  
チヤウ板ヲ薄ヒル斜板ヲ設  
前方射重時ニ火炎及瓦斯  
ヲ操縦席ヲ避ケル為トス。

置ス。

2. 搭彈用タービン高サツ若キ增加ロ  
現在、及12.3分相當、射角ヲカケガ  
レハ装填不能トシ。

研究完了。

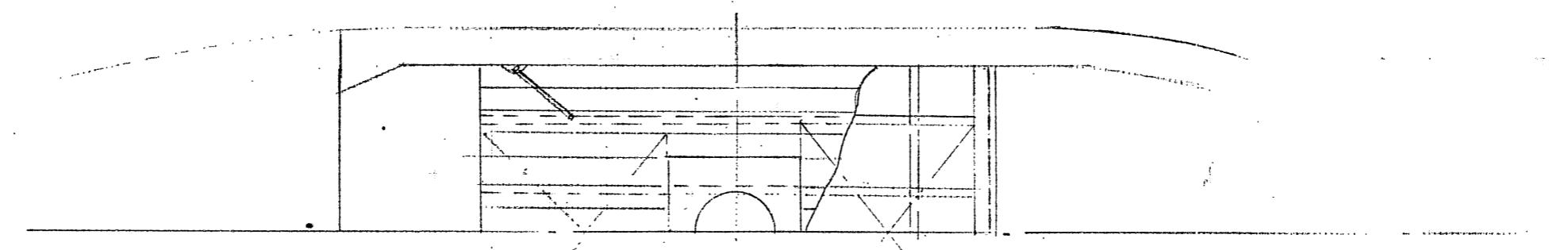
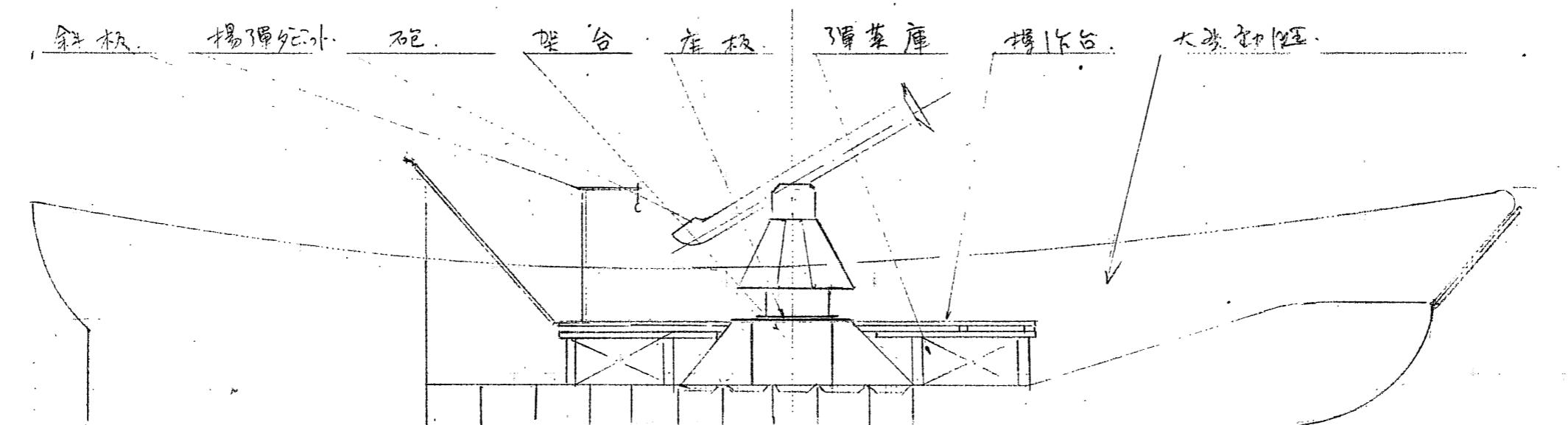
昭和28年七月 日 研究完了ス。

研究成果ノ評議判決。

「二十糠噴進砲ハ之ヲ載運船中央部ニ  
附屬設備(搭彈用タービン及弾薬庫)ヲ設置シル木鉄  
構造ノ堅苦ニ設置シ之ヲ装載スルヲ適當ト認ム。」

年 月 日 記録者

2024

二十吋噴進砲裝載大砲動駛裝載要領圖

年 月 日 記錄者

2025